

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成29年 7月 24日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府南丹市八木町美里紫野1	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 雪印メグミルク株式会社 京都工場 工場長 大野 智
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO 14001:2015 (BSIグループジャパン株式会社 認証)
適 用 範 囲	牛乳及び加工食品(ヨーグルト、クリーム、デザートなど)の生産
導 入 年 月 日	2007年 3月19日 (2005年12月15日承認機関の変更)
認 証 番 号	EMS 99990
基 本 方 針	別紙、環境方針参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	1、エネルギー原単位の削減 前年比1%削減 2、廃棄物再資源化率 100%維持 3、廃棄物発生量 前年比1%削減
目標を達成するための取組の内容	1、照明設備のLED化による電力削減 2、槽内井戸ポンプの能力適正化電力削減 3、貫流ボイラの更新による燃料使用量の削減 4、空気圧縮機インバータ化による電力削減
目標を達成するための取組の進捗状況	1、ハード充填機スカートヒータの停止による電力削減 2、CIPA~Dユニット酸洗浄常温化による燃料使用量の削減 3、ドリンクサーミアアップ量の見直しによる廃棄削減(電力・廃棄物削減) 4、排水嫌気脱脂槽 攪拌方法の変更による電力削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	1、エネルギー原単位の削減 71.46k l / 千 k l (前年比 97.8%)【達成】 2、廃棄物再資源化率 99.8%【未達成】 3、廃棄物発生量 前年比 109.6%【未達成】 ※ 生産物量の増加により、廃棄物量が前年を上回る結果となった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規遵守状況は1年に1回確認を実施、環境内部・外部監査も定期的に実施されており関係行政からの指摘等も発生していない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001の改正(2015ver)に伴い、全社的にシステムの再構築を図った。新システムにおいても環境方針に則り、環境負荷の低減を図ることで、より良く環境保全活動に取り組めた。エネルギー原単位は活動の成果もあり目標を達成したが、廃棄物量は生産物量の増加により前年を上回る結果となった。但し、増加した廃棄物(紙類)は有価物として再生処理されている事から、環境マネジメントシステムの運用に問題は無いと評価した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。